

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 7 月 19 日 (NO.78)

浦幌町教育委員会
浦幌町教育研究所



7月29日(金)、秋田県由利本荘市において、「全国コミュニティ・スクール研究大会 in 由利本荘」が開催されます。

浦幌町から鈴木次長と中野教頭が参加する予定になっています。



本別町の皆さんと協議

本別町から視察団来町

■7月19日、本別町教育委員会中野教育長をはじめ教育関係者12名が来町され、コミュニティ・スクール導入の経緯及び学校運営協議会設置の取組状況等について交流していかれました。

本別町では、すでに勇足地区をモデルに想定した準備会を設置し、CS導入に向けた調査・研修を精力的に行っており、浦幌町にとっても様々な気付きや刺激をいただきました。

CS導入の必要性について、学校と地域が継続的・組織的・安定的に連携・協働する関係性の構築、及び次期学習指導要領の改訂により、「社会に開かれた教育課程」を編成するためのCSの果たす役割の大きさなどを協議しました。

また、CS導入の手順として、次の事柄を共有しました。①教育委員会が基本構想を策定し、ビジョンを明確にする。②学校運営協議会等に関する教育委員会規則等を作成する。③校長から学校運営協議会委員を推薦してもらい、教育委員会が任命する。④当該校をCSに指定する。

さらに、当事者意識を高揚するために、「熟議」を通して「目指す子供像」や「その達成方法」を共有することの必要性を確認するとともに、CSマイスターを活用した研修会の実施、CS便り等による普及・啓発活動の必要性等について意見交換が行われました。

本別町の皆さん方からいただいた数々のご助言は、小中一貫CSに着手したばかりの浦幌町にとって大変意義深いものでした。ご来町ありがとうございました。



本別町の皆さんと一緒に